

第四次草加市教育振興基本計画

いのちの教育グランドデザイン(令和8年度版)

〈いのちの教育の取組の目的〉

「いのちの大切さ」を実感することができる学習を行うことで、子どもが自他のいのちはかけがえのないこと、生を受けたことへの感謝、生きることの尊さを理解する。

3つの観点

- ①自尊感情・自己肯定感・自己有用感の醸成を図る
- ②いのちのつながりを学ぶ
- ③いのちの尊さと人間としての生き方を学ぶ

〈いのちの教育が求められる背景〉

- ・規範意識や倫理観の低下・社会性の不足・地域コミュニティの崩壊
- ・インターネット上の誹謗中傷、名誉棄損、プライバシー侵害、人権侵害等
- ⇒ ・いじめ問題 ・不登校 ・自殺 ・いのちの軽視 等
- 子どもたちの心の成長のゆがみ いのちの教育の必要性

様々な体験活動を通して、「いのちの大切さ」を実感する

学校の取組（各教科等の取組例は次頁参照）

草加市教育委員会の取組・事業

①自尊感情・自己肯定感・自己有用感の醸成を図る

- ◆草加っ子の基礎・基本
- ◆道徳教育の充実
- ◆音楽教育の推進
- ◆自然と触れ合う体験活動の推進
 - ・豊かな感性の育成
 - ・よりよい人間関係の構築
- ◆社会体験事業
 - ・社会性、自立心、責任感を養う
- ◆読書活動の推進
 - ・心豊かな児童生徒の育成
- ◆特別支援教育の充実
- ◆学級支援員、SC、SSWの配置

②いのちのつながりを学ぶ

- ◆豊かな心推進事業
 - ・造血幹細胞移植の学習
 - ・生命誕生等の学習
 - ・妊婦体験学習や保育実習
 - ・生命誕生やいのちの尊さを学ぶ講演会の実施
- ◆学校給食の推進
 - ・地産地消の推進
- ◆食育の推進
 - ・食によりいのちがつながっていることを実感する
- ◆学校保健の充実
- ◆「いのちの授業」助産師派遣

③いのちの尊さと人間としての生き方を学ぶ

- ◆学校人権教育の推進
 - ・豊かな人権感覚
 - ・自他を大切にできる心
- ◆いじめ撲滅の推進
 - ・いじめ撲滅サミット
 - ・いじめをいのちの問題としてとらえる
 - ・Q-U検査の活用
- ◆学校・家庭・地域が一体となった防災教育の推進
 - ・いのちを守る防災教育の推進
- ◆児童虐待から子どもを守る取組の推進
 - ・子どものいのちを守る

いのちの教育の土台

道徳教育・生徒指導・教育相談の充実

- 家庭・・・保護者の愛情
- 学校・・・子どもたち同士の絆、子どもと教師との信頼関係
- 地域・・・地域とのつながり、関係諸機関との連携

◆修学旅行(中3)

◆豊かな心推進事業(中2)

◆社会体験活動(中1)

◆自然教室(小5)

◆いのちの授業(小4・中3)

◆防災学習(小1～中3)

◆交通安全教室(小学校)

◆保育実習(中3)

◆自然教室(中2)

◆妊婦体験(中1)

◆修学旅行(小6)

◆赤ちゃん人形を使った臍帯血採取体験(小5)

◆福祉体験学習(小3～小6)

◆自然観察や生き物・植物の飼育・栽培体験(小1・小2)

教育委員会の施策

「いのちの大切さ」を実感させるために

生徒指導の充実

- ◆児童生徒一人ひとりに対する理解に基づいた生徒指導の推進と、組織的な対応
- ◆「いじめ防止学校基本方針」を指針とした、いじめ問題に対する、「未然防止」「早期発見」「事案対処」
- ◆学校・家庭・地域が連携し、一体となった指導の推進

インクルーシブ教育システムの構築

- ◆ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の推進
- ◆自他のよさや大切さを見出す活動
- ◆高齢者や幼児、異学年などの異年齢集団との体験活動
- ◆家庭や医療、関係機関との連携

教育相談の充実

- ◆教育相談週間の活用
- ◆さわやか相談員との連携
- ◆SC、SSWとの連携

不登校児童生徒への対応

- ◆豊かな人間関係の育成
- ◆不登校の予防・未然防止
- ◆家庭との連携
- ◆所在確認の徹底

健康教育

- ◆体力向上
- ◆食育の推進、充実
- ◆性に関する指導の充実
- ◆薬物乱用防止教室

進路指導・キャリア教育

- ◆キャリア教育の充実
- ◆社会体験活動・奉仕体験活動
- ◆勤労生産的体験活動

学級経営

- ◆Q-U検査を活用した、学級経営の推進
- ◆よりよい人間関係の構築
- ◆自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む学級づくり
- ◆授業規律・学習規律の確立

ESD

(持続可能な開発のための教育)

- ◆環境教育
- ◆エネルギー教育
- ◆防災教育
- ◆国際理解教育

子ども教育の連携

- ・幼保小中情報交換会
- ・小中学校乗り入れ授業
- ・小中学校合同研修会
- ・小中学校合同授業研究会
- ・指導訪問等での相互の授業参観、情報交換

0歳から15歳までの子どもの育ちを共に支えることで、いのちの大切さを実感できるようにする。

自殺の予防・防止

- ◆豊かな心の育成
- ◆「いのちの大切さ」の指導の徹底
- ◆「学校における自殺予防」の活用
- ◆「自殺予防週間」の実施
- ◆「草加っ子」元気カード等、電話相談窓口の活用
- ◆匿名での報告・相談アプリ「スタンドバイ」の活用といじめの傍観者とならないための「脱・傍観者授業」の実施

親の学習

- ◆自分が生まれてからこれまでの親の気持ちを共感的に理解する学習
- ◆「親になる」とはどういうことを理解する学習